

SHO-BOND

電気防食工法

貼付け型モール陽極を用いた電気防食工法
(線状外部電源方式)

SHO-BOND

e-Cover・C工法

SHO-BOND e-Cover・C Method

▶ 国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)登録 KT-150017-A

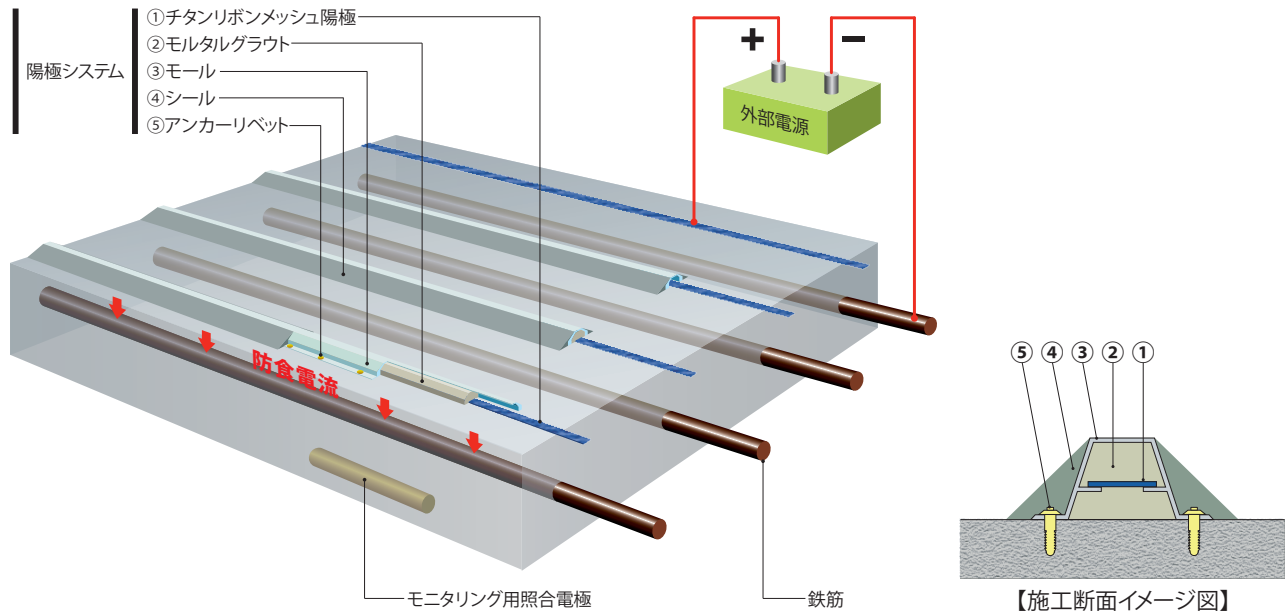


■補修工学[®]— 構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

モール(チタンリボンメッシュ陽極)をコンクリート面に直接貼り付ける 施工性の高い外部電源方式の電気防食工法です。

i 工法概要



ii 特長

- ①陽極設置時にカッター、はつりが不要で、構造物を傷つけません。
- ②粉じんの発生がなく、環境にやさしい電気防食工法です。
- ③鉄筋量に合わせて陽極量を変更することができます。
- ④設置後にグラウトモルタルを充てんするため短絡が起こりづらく、金属片除去等の前処理が簡単です。
- ⑤水密性に優れており水による影響を受けないので、均一な防食電流を供給できます。
- ⑥シールとアンカーリベットの併用により落下を防止します。
- ⑦施工が簡便なため、経済性に優れています。

iii 適用

- e-Cover・C工法は、鉄筋コンクリート構造物の塩害対策工法です。
- 潜伏期から劣化期まで総ての劣化進行過程に対応できます。
(加速期後期から劣化期の構造物は、補強工法との併用も可能です。)
- 陽極の耐久性は40年以上です。
- 水中部以外の部位に適用できます。